

太白区鹿野地区民生委員児童委員協議会

(平成 25 年 4 月 8 日掲載記事)

(1) 鹿野地区の被災状況と現在の様子

鹿野地区民児協は、仙台市南部に位置する太白区の北東部を担当区域としています。区の中心部に隣接する平坦な住宅地と、比較的早期に開発された住宅団地のある区西部につながる丘陵地からなる地区です。そのため、高齢化率の高い地域でもあります。今回の震災では市内他区と比べると被害が少なかった太白区ですが、そのなかでも地滑り等で大変大きな被害を受けたところが私たちの担当する地区でした。



(大きな被害を受けた緑ヶ丘地区)

当地区に属する緑ヶ丘4丁目地区の一部は、大規模な地滑りにより、委員の自宅も含め、家屋の多くが損壊したり、傾く等の被害を受けました。電気や上下水道、ガス、道路等のインフラも被害を受け、復旧までには遅いところで2か月ほどかかりました。

市の調査により、多くの家屋が全壊や大規模半壊、半壊の認定を受け、公費による損壊家屋の解体・撤去作業が行なわれ、そこに住んでいた人々は、仮設住宅（みなし仮設住宅を含む）や縁故者を頼って移転しました。80戸程度を含むこの地域は、災害危険地区に指定され、防災集団移転事業の適用を受け、半数程度の人々は復興公営住宅の建設を待っているところです。市による土地の買い取りや跡地の整備など、残された問題の処理にはまだ何年もかかるものと思われま

(2) 現在の活動～防災に向き合う～

震災から2年以上が経過し、地区民児協として防災というテーマに対し、どのように取り組んでいくかを常に考えています。平成24年10月、地区内の中学校が実施した防災訓練では、他の福祉関係団体とともに協力を行いました。民児協が担当した内容は、地元の中学生と共に要援護者のご自宅を訪問し、安否確認を行なうというものでした。夏に行なった災害時要援護者調査をもとに、事前に了解をいただいた方を訪ねました。生徒たちは元気に訪問の挨拶を述べたり、高齢者からの質問をメモしたりと、大変いきいきとした、内容のある活動をすることができました。また、訪問先の高齢者が、若々しい中学生が見守りにきたということで、大変喜ばれていた姿がとても印象的でした。



お年寄り宅にいざ出発



校長先生と民協会長に終了報告

この防災訓練は、日ごろの民生委員・児童委員活動の広報に役立つとともに、生徒たちに防災意識を芽生えさせ、「中学生である自分たちも地域の一員である」という意識の醸成につながったのではないかと考えると、大変有意義な試みではなかったかと考えています。